



# 赤磐

令和5年3月議会 第73号

# 市議会だより



## 赤磐市議会ホームページ



(議会中継)

(会議録)

(市議会だより)

赤磐市議会

検索

ホームページでは議会の情報や、本会議、委員会の中継を配信しています。

## CONTENTS

3月定例会のあらまし	2P
委員会のうごき	5P
15人の議員が一般質問	12P

令和5年度補正予算（一般会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（2億3277万円増額）（第1号）

- ・感染症予防事業（2億2077万円増額）
- ・地域整備推進事業（1200万円増額）

**問** 地域整備推進事業の1200万円は、12月議会で修正動議が出され落とされた事業費で、その後議論が無いにもかかわらず再度上程したのはなぜか。

**答** 12月議会で様々な意見をもらい、執行部として重く受け止め、議員へ個別で説明、赤坂、吉井、熊山各地で住民へ説明を行った。都市計画審議会で、専門家に説明を行い、3月議会で複数の議員からの一般質問に答弁で説明をし、それらを積み上げたことで、議案として本日上程した。

**問** 土地利用について、市は市街化調整区域を市街化区域に編入するための都市計画の変更手続に必要なものと考えていいのか。具体的に委託するものと、どのような手続が必要なのか。

**答** 調整区域を市街化区域にするためのもの、それ以外に用途の変更や幅広い都市計画の変更を予定している、関係機関の県、農水省、国交省との協議に必要な説明用の資料を最終的に法定図書という形で取りまとめたもので手続を行っているため費用である。

赤磐市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例を可決



**問** 通信技術を活用した行政を具体的な事例での説明と開始時期はいつからか。

**答** 児童手当の現況届や妊娠の届出など子育て関連の15の手続、要介護、要支援認定申請など介護関係の11の手続、罹災証明書発行申請の被災者支援関係の1の手続、合計で27の手続をオンライン化の予定で、4月1日から始める。

赤磐市地域食材供給施設基金条例を廃止する条例を可決



赤坂天然ライス

**問** 条例を廃止する理由と、積み立てている基金はどのようにするのか、また積立額は。

**答** 赤坂天然ライスを行政財産から普通財産に変更し、赤磐市地域食材供給施設条例から除外するため条例を廃止する。廃止した後の資金は、施設整備等に充てるため、公共施設等整備基金に積み立てる。積立額は、令和4年度末の見込みで4626万円である。

3月定例会のあらまし

議案審議

3月定例会を2月21日から3月22日まで30日間の会期で開催した。人事案件10件を同意・適任、議案29件を可決、請願1件を採択とした。また、議員発議の決議案1件、委員会発議の議案1件を可決とした。

3月定例会のあらまし

委員会のついで

いっぽん質問

その他協議会等



次のとおり同意・適任とした。

**副市長**

前田 正之  
(桜が丘西10丁目)

**【任期】**

令和5年4月1日～  
令和9年3月31日

**監査委員**

近藤 常彦 (多賀)

**【任期】**

令和5年4月1日～  
令和9年3月31日

**教育長**

坪井 秀樹 (穂崎)

**【任期】**

令和5年4月26日～  
令和8年4月25日

**教育委員会委員**

遠藤 益恵  
(山陽4丁目)

**【任期】**

令和5年5月20日～  
令和9年5月19日

**固定資産評価審査委員会委員**

大本 崇  
(岡山市北区大安寺南町1丁目)

**【任期】**

令和5年5月19日～  
令和9年5月18日

橋本 信洋 (西窪田)

津田 典保 (沢原)

是松 英明 (是里)

**【任期】**

令和5年5月19日～  
令和8年5月18日

**人権擁護委員**

岡本 勝己 (沢原)

**【任期】**

令和5年7月1日～  
令和8年6月30日

**佐々木雄司議員の議員辞職について**

佐々木雄司議員から提出された辞職願について、3月22日の本会議において採決の結果、賛成多数で許可されました。

**討 論**

**議第19号 令和5年度赤磐市一般会計予算**

**【反対討論】**

(2人)

▽松くい虫防除の予算が入っているので反対。  
環境汚染を引き起こす薬剤は使ってはならない。  
▽少子化対策の予算がないので反対。  
給食費無料継続の予算がないのはあり得ない。

**議第20号 令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計予算**

**【反対討論】**

(1人)

▽国保会計での子供の負担軽減策がないので反対。  
18歳までの均等割りをなくすべき。

**請 願**

**請願第1号 小中学校給食費無料の継続を求める請願**

**【採択】**

**【要旨】**

令和5年度以降も小中学校の給食費の無料化の継続を。

**【賛成討論】**

(4人)

▽大変多くの保護者の切実な声として、給食費の無償化の継続の思いをくんで欲しい。  
▽子育て支援策として県下に先駆けて始めたのだから給食費無料の継続をすべき。  
▽一人の給食費はそうでもないかもしれないが、二人、三人となると負担が大きいの。負担の軽減を。  
▽給食費を無料にし、保護者に期待させたこと。これからの財政運営を考えるきっかけにすること。

**発 議**

**発議第1号 赤磐市議会の個人情報保護に関する条例の制定について**

**【可決】**

**【要旨】**

「個人情報保護に関する法律」の改正により、令和5年4月1日から個人情報保護制度の法体制が変更されたことに伴い、赤磐市議会において個人情報保護の適切な取り扱いに関し、必要な事項を定める。

**発議第2号 特別委員会の設置について**

**【可決】**

**【要旨】**

**特別委員会設置の目的**

①新拠点地域における公共施設ゾーンの整備について。  
②旧4町の街づくり及び振興計画について調査、協議を行う。

令和5年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	
同意第1号	赤磐市副市長の選任に関し同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議第19号	令和5年度赤磐市一般会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	小・中学校給食費無料の継続を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	令和5年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	佐々木雄司議員の議員辞職について	許可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
同意第2号	赤磐市監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
同意第3号	赤磐市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
同意第4号	赤磐市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
同意第5号	赤磐市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
同意第6号	赤磐市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
同意第7号	赤磐市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
同意第8号	赤磐市教育委員会教育長の任命に関し同意を求めることについて	同意
同意第9号	赤磐市教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
議第1号	赤磐市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決
議第2号	赤磐市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例	可決
議第3号	赤磐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第4号	赤磐市地域食材供給施設基金条例を廃止する条例	可決
議第5号	赤磐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第6号	赤磐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第7号	赤磐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第8号	赤磐市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第9号	赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議第10号	赤磐市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第11号	赤磐市地域食材供給施設条例の一部を改正する条例	可決
議第12号	市道路線の変更について	可決
議第13号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）	可決
議第14号	令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議第15号	令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議第16号	令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議第17号	令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第2号）	可決
議第18号	令和4年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議第21号	令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議第22号	令和5年度赤磐市介護保険特別会計予算	可決
議第23号	令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算	可決
議第24号	令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算	可決
議第25号	令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算	可決
議第26号	令和5年度赤磐市財産区特別会計予算	可決
議第27号	令和5年度赤磐市水道事業会計予算	可決
議第28号	令和5年度赤磐市下水道事業会計予算	可決
発議第1号	赤磐市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決
発議第2号	まちづくり調査特別委員会の設置について	可決

# 予算 常任委員会

令和4年度補正予算（一般会計・特別会計・公営企業会計）  
758万円の減額補正を可決

- 一般会計（1億130万円増額）（第10・11号）
- 国民健康保険特別会計（365万円減額）（第3号）
- 後期高齢者医療特別会計（1660万円増額）（第2号）
- 介護保険特別会計（1億4798万円減額）（第3号）
- 竜天オートキャンプ場特別会計（28万円増額）（第2号）
- 下水道事業会計（2586万円増額）（第1号）

**資源化物売払収入で603万円増額**

**問** 物品売払収入の補正が603万円という説明があった。売払収入がどれだけ上がったのか。

**答** リサイクルプラザでの売払収入は、年間大体100万円から120万円の販売収入がある。

**文化財保護費が980万円減額**

**問** 文化財保護費が900万円減額補正されている。これは両宮山古墳墳丘裾の工事だと思うが、県の補助金が減額になったからか。工事の本身に影響はなかったのか。

**答** 国庫補助金の減額に伴い事業費の減額を行っている。この保存工事については、国の財源を活用して実施している。当初計画して



両宮山古墳墳丘裾の工事

いた延長については減少という形になる。令和4年度は約50メートルの進捗である。

**エネルギー価格高騰対策事業の支援に1億2270万円計上**

**問** 法人事業者は20万円、個人事業者は5万円だが、商工会に入っていない事業者への周知は。

**答** 市や商工会のホームページ、チラシ作成などで行う。

**住宅リフォーム補助事業を850万円繰越し**

**問** 850万円が繰越したが、利用しにくかったのか。

**答** 10月の臨時議会で



住宅リフォームパンフレット

計操出金2586万円増額。事業の実績見込で、新生児子育て応援特別定額給

50件を想定して増額したが、応募が12件で予算が残っている。年度内での完了を条件にしたので期間が短かった。

**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億424万円増額**

**問** この交付金をどのように振り分けているか説明を。

**答** 割り振りは、主に物価高、エネルギー高騰の影響を受ける事業者支援に配分している。

新規に計上した事業、和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金30万円、エネルギー価格等高騰対策事業者支援補助金8457万円、下水道事業会

付金300万円、施設維持管理費350万円を減額して計上している。

## 竜天オートキャンプ特別会計

**竜天オートキャンプ場の事業収入を205万円増額**

**問** 205万円増収になったのは何故か。

**答** 令和4年度予算の編成時、コロナによる施設の利用休止が続き、利用者減を見込んだが、利用休止がなかった。



竜天オートキャンプ場

令和5年度当初予算359億1,650万5千円を可決

会計名	令和5年度予算	令和4年度予算
一般会計	200億1,001万8千円	210億7,384万1千円
特別会計	112億7,134万5千円	111億4,916万9千円
国民健康保険	56億2,800万4千円	56億1,105万2千円
後期高齢者医療	7億8,255万8千円	7億207万1千円
介護保険	47億2,432万1千円	47億471万3千円
訪問看護ステーション事業	5,375万円	5,379万8千円
宅地等開発事業	4,284万7千円	4,384万7千円
竜天オートキャンプ場	2,264万4千円	1,833万7千円
財産区	1,722万1千円	1,535万1千円
公営企業会計	46億3,514万2千円	46億3,493万5千円
水道事業	15億4,349万6千円	14億9,773万9千円
下水道事業	30億9,164万6千円	31億3,719万6千円
合計	359億1,650万5千円	368億5,794万5千円

3月定例会のあらまし

委員会のうごき

いっぽん質問

その他協議会等

一般会計

山陽団地活性化等企画関連事業に630万円計上

問 ひかりの実プロジェクトの継続か。山陽団地活性化だけはいくらか。

答 山陽西小学校の50周年に併せて再度ひかりの実プロジェクトも実施したい。地域データ分析システム委託料等も含めており、山陽団地活性化関連事業としては約100万円である。



ひかりの実プロジェクト

生活交通対策事業に7882万円計上

問 ハレカハーフ事業について説明を。

答 高齢者（65歳以上）、障害者が路線バス等を利用した場合に、乗降の一方が赤磐市であれば運賃の半額を市が負担するもの。顔写真とシニア、障害者の区別を券面に記載した赤磐市独自のハレカハーフカードを発行し、チャージしておけば自動的に半額になる。

移住・定住促進事業に1949万円計上

問 令和4年度より倍増している理由は。

答 空き家改修補助金を令和4年度実績等を見込んで10件分、100万円を増額した。また、移住支援金の要件が若干緩和され、子供帯同の場合100万円がプラスされるのを見込み300万円を計

上した。

シティープロモーション事業に1321万円計上

問 現在、あかいわ広報大使は何名おり、どのような活動をしているか。地域活性化起業人制度について説明を。

答 あかいわ広報大使は、現在4人と1組に委嘱している。活動は、無償の通常活動と、市内外のイベントに出演していただく特別活動がある。

地域活性化起業人制度は、総務省の制度で、3大都市圏に所在する企業等の社員に、その知見を生かして一



FM赤磐中継局開局3周年記念特別番組の収録風景

定期間地域活性化に向けた活動をしてもらうもの。負担金800万円は派遣元の企業に支払うもの。

選挙啓発費に14万円計上

問 18歳から20歳への啓発について説明を。新聞折り込みに代わる広報手段は考えられないか。

答 二十歳のつどいや18歳の機会を捉えて、対象者にパンフレット、リーフレットを送付している。主権者教育の推進が大切であり、選挙管理委員会から学校教育面で協力する準備はしている。

告示日以後に選挙公報を作成し、全戸に届けるのは至難の業で、どこの市町村も新聞に頼らざるを得ないのが実情。市役所、支所、出張所に選挙公報を置いているので取りに来ていただきたい。

**交通安全対策事業に  
1194万円計上**

**問** 踏み間違い防止装置補助金が倍増している理由は。

**答** 令和4年度の実績を見て1000万円を計上した。

**桜が丘いきいき交流センター運営管理事業に3626万円計上**

**問** 電気自動車の急速充電器のメンテナンス、故障時の対応は。今後の利用料は。

**答** 機器の安定性、機能性を重視することを念頭に、業者を選定する。故障時、メンテナンスも踏まえた対応の迅速性、確実性を重視して事業を進める。  
利用料については当面は無料と考えている。今後、他の事例、受益者負担の観点も考慮して全体的に研究していく。

**防災費に1499万円計上**

**問** 防災士の資格取得補助金は何名を予定しているか。

**答** 自主防災組織活動支援事業補助金の中に防災士資格取得費用も含めており、20人を想定している。

**児童福祉費に30億4164万円計上**

**問** 児童福祉費は、前年度とあまり変わりの状況の中で、新規事業では赤磐市の売りというものが何があるのか。

**答** こども家庭庁ができることになり、その予算のつき方、概要とかがまだはっきり見えていない。児童手当とか、大きな予算が動く可能性もあり、そういういった情報についてはしっかりキャッチをして、補正予算等で対応していく。

**民生児童委員会活動事業に975万円計上**

**問** 民生委員の補助金は、具体的にはどういった金額になるのか。

**答** 主なものは活動費として、県から一人当たり6万2000円、市費の上乗せ分一人当たり1万1000円、合計7万1200円で民生委員122名分86万6400円を活動補助金として計上している。

**国保診療勘定繰出金に3億405万円計上**

**問** 国保診療勘定の繰出金が増額になっている。この増額の要因の主なものは。

**答** 熊山診療施設勘定と佐伯北診療施設勘定の2つがある。佐伯北診療所の公債費元金の増と医師の1人増員が主な要因。

**感染症予防事業に1億3143万円計上**

**問** 感染症予防事業の金額が大幅に減っているのは、いわゆるコロナ関連ということか。

**答** コロナ禍には予防費として乳幼児の予防接種また高齢者のインフルエンザとか肺炎球菌、それとコロナ予防接種の予防費として入っていたが、令和5年度については、国の方針が今年3月31日までを特例臨時接種と期間を決めていた。その方針を基にした計上で、大幅な減額となっている。

**健康増進事業に6452万円計上**

**問** 健康ポイント事業は、昨年も770万円くらいあった。この事業には、システム導入の委託料が毎年発生してくるのか。

**答** 個人の健康づくり

を支援するため、健康無関心層や若い人の健康づくりを目指して、行動変容を効果的に促進していくことを目的に行っている。この委託料は、5年度で3年目になり、対象者を初年度は1000人、4年度は2000人、5年度は300人と対象者を増やしていることが一つ要因。



健康ポイント事業案内

**廃棄物減量化対策事業に639万円計上**

**問** 大災害時におけるごみの分別方法を盛り込むようなチラシを作ると説明があった記憶している。その作業はどういう状況か。

**答** 大規模災害が起きたときの仮置場の案内について、毎年配布しているごみカレンダー

の裏面に印刷している。3月の広報の配布時に一緒に配布している。

**体育施設一般管理1億3290万円計上**

**問** 山陽ふれあい公園の指定管理料9670万円について説明を。

**答** 事業の総額は、前年比100万円ほどの減額となっている。山陽ふれあい公園については5年間の指定管理だが、企画提案の時点で年度ごとの収支を計算した上で、だんだん指定管理料が安くなる提案をもらっているもので、前年度に比べて100万円ほど安くなっている。



山陽ふれあい公園

# 委員会のうごき

## 地域おこし協力隊員事業に960万円計上

**問** 報償費と補助金があるが、仕組みの説明を。

**答** 報償費は協力隊の生活費。補助金は事業をやっていく上で必要な費用となっているが、年度内に幾らまでの上限がある。

## 松くい虫等防除事業に2167万円計上

**問** 面積が減って減額だが、5年度の状況は。森林病害虫防除事業委託料とはどんな事業か。

**答** 防除面積としては305haを考えている。主にはヘリの運用費と、薬剤の費用。

森林病害虫防除は、松くいになった木の伐倒駆除や、ナラ枯れの対応を含む。

**問** 地域での要望は聞いているのか。



是里ワイナリー

**問** 地域での要望は聞いているのか。

**答** 50万円は、かやぶき屋根改修工事の変更設計。施設管理する箇

**問** 設計・施工監理委託料の50万円と施設管理委託料579万円で管理する施設の数。

**答** 4月よりJALグループより1名受け入れ。負担金は560万円。空港内での事業や、地域おこし協力隊員と協力してのイベントなどに従事している。

**問** 地域活性化企業人負担金は幾らで、活動内容は。

**答** 4月よりJALグループより1名受け入れ。負担金は560万円。空港内での事業や、地域おこし協力隊員と協力してのイベントなどに従事している。

## 農業振興施設の維持管理運営費に3377万円計上

**問** 内容について説明を。

**答** 是里ワイナリーの機器等の維持管理経費と空調やタンクの冷却装置改修費用。財源は過疎債で対応する。

## 農業振興費に2億6611万円計上

**問** 事業計画書作成委託料の説明を。農業振興センターの事業とは別の事業か。

**答** 果樹園地の計画書作成の委託料。果樹団地の整備も就農等支援センターの事業の一つ。

## 観光対策事業に3678万円計上

**問** 地域活性化企業人負担金は幾らで、活動内容は。

**答** 4月よりJALグループより1名受け入れ。負担金は560万円。空港内での事業や、地域おこし協力隊員と協力してのイベントなどに従事している。

**問** 設計・施工監理委託料の50万円と施設管理委託料579万円

**答** 50万円は、かやぶき屋根改修工事の変更設計。施設管理する箇

**問** 太陽光発電所は何か所か。発電能力が落ちる、放置するなど地域住民が困る事例があるが、契約はどうなっているのか。

**答** 桜が丘東地域と吉井地域の2か所。20年間分の1割を契約保証金としてもらっている。事業者、金融機関とで協定を結び、事業の継続は担保している。最終的に更地に戻す契約。

## 太陽光発電所用地貸付の財産貸付収入に835万円計上

**問** 太陽光発電所は何か所か。発電能力が落ちる、放置するなど地域住民が困る事例があるが、契約はどうなっているのか。

**答** 桜が丘東地域と吉井地域の2か所。20年間分の1割を契約保証金としてもらっている。事業者、金融機関とで協定を結び、事業の継続は担保している。最終的に更地に戻す契約。

## 商工振興対策事業に3199万円計上

**問** 企業勉強会の具体的な説明を。地元企業はどのくらいあるのか。

**答** 近隣高校生に市内企業を知ってもらおう事業。企業勉強会と企業ガイドブックの作成。

**問** 剪定作業と草刈り作業で4700万円の予算だが、対象は団地の剪定が大きい。申し合わせがあるのか。民間の高木の処理は市に請求できるのか。

**答** 草刈は全ての市道が対象ではなく、通学路や交通の多い市道の路肩。剪定は山陽団地外周・東西桜が丘と熊山地域。地元からの要望で支障となる街路樹は個別の対応をする。地元地区かシルバー人

**問** 岡山県は耐震化が遅れている。建設改良費が含まれるのか。

**答** 建設改良費は、下水道工事に伴う支障管移設、配水管の改良工事が含まれている。今は耐震の基準に合った管を入れている。

## 道路維持管理事業の委託料に8826万円計上

**問** 剪定作業と草刈り作業で4700万円の予算だが、対象は団地の剪定が大きい。申し合わせがあるのか。民間の高木の処理は市に請求できるのか。

**答** 草刈は全ての市道が対象ではなく、通学路や交通の多い市道の路肩。剪定は山陽団地外周・東西桜が丘と熊山地域。地元からの要望で支障となる街路樹は個別の対応をする。地元地区かシルバー人

**問** 岡山県は耐震化が遅れている。建設改良費が含まれるのか。

**答** 建設改良費は、下水道工事に伴う支障管移設、配水管の改良工事が含まれている。今は耐震の基準に合った管を入れている。

## 水道事業会計

### 水道建設改良費に2億5377万円計上

**問** 岡山県は耐震化が遅れている。建設改良費が含まれるのか。

**答** 建設改良費は、下水道工事に伴う支障管移設、配水管の改良工事が含まれている。今は耐震の基準に合った管を入れている。

**問** 岡山県は耐震化が遅れている。建設改良費が含まれるのか。



# 総務 常任委員会

3月8日に総務常任委員会を行った。  
議案2件について審査した。

## 計画の 一部改正

### 赤磐市過疎地域持続 的発展計画の変更

**問** 赤坂地域が過疎地域に入り2年が終わろうとしている。火葬補助金交付事業がここで追加された理由は。

**答** この事業は令和2年度から単市で取り組んでいたが、この度、過疎債活用が目途が立ったため追加した。火葬料に値上げ

があった場合、補助金の額はあわせて上がるのか。

**答** 火葬料金が上げられ、補助金の額を変更するか、利用者に負担してもらうことになる。市民が払う火葬料金の差を埋める目的で実施しているので、差が広がるようであれば制度も見直す。

**問** 仁美農村振興センター整備事業で空調設備の整備をするところがあるが、トイレの洋式化の状況は。

**答** トイレの洋式化は100%済んでいる。

## 条例制定

### 赤磐市情報通信技術 を活用した行政の推 進等に関する条例

**問** 電子データで手続きをした場合に、手続きが完了したかどうかはどのようにして分かるか。

**答** 画面上に「申請を受け付けました」との表示が出る。今後電子申請、オンライン化が活用されることが増えてくるので、日々改良を加えていく。

**問** 27手続きをオンライン化するということだが、転入転出の手続きやその他の手続きはいつごろやるのか。

**答** 転入転出のワンストップ化は法律で規定されているため、市の条例には該当していない。市町村が予定している部分は一旦これで終了となる。随時有効なものから追加していきたい。

**問** 図書館利用にマイナンバーカードを活用したり、公共施設の予約手続きをオンライン化しないのか。

**答** 図書館の利用カードについては、システム改修の時期等を含めて研究していく。施設予約について

は、これまでのシステムでは予約と同時に料金が払えないため、窓口での申請、料金の支払となっている。施設の利用状況等を見ながら研究していく。

**問** 条例が制定されて、いつごろから利用できるのか。

**答** 条例に基づく電子申請は、令和5年4月1日を目指して準備を進めている。

# 産業建設 常任委員会

3月7日に産業建設常任委員会を行った。  
議案3件について審査した。

## 条例の改正

### 赤磐市地域食料供給 施設条例の一部を改 正する条例

**問** 本会議での質疑の中で、積立金が4600万円ほどあるという答弁があったが、もう少し詳しく説明を。

**答** 施設がこの条例改正で普通財産に変わることにより基金を廃止する。赤磐市地域食料供給基金条例で基金を積むようになって

いるが、その条例を廃止することで積み立てた基金を、財産の管理、修繕等、公共施設等の整備基金に充てる。

**問** 今後の使用については理解できるが、積立金があったということとは、当委員会で報告がなかった。赤坂天然ライスを指定管理にする際に、合併浄化槽の改修に多額な金額を要していると思うが、基金はいつからで、なぜ4600万円という金額が残っているのか。

**答** 平成20年に基金条例が制定され、その後、財産の管理、修繕等に使っている。



マイナンバーカード

# 厚生文教 常任委員会

3月6日に厚生文教常任委員会を行った。議案7件、請願1件について審査した。

**赤磐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について**

**問** どういう想定をして懲戒はやめることになったのか。  
**答** 躰、教育という立場でいろいろな指導が行われてきたことを保障していたのが懲戒権で、躰、教育の一環といえども、虐待に通じる可能性があるということで民法が改正され

た。この条例改正は民法の改正に伴うものである。

**問** 施設管理責任者に対して、懲戒してはいけないという指導が徹底されると理解してよいか。  
**答** そうである。

**赤磐市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例について**

**問** 対象者は何人いるのか。  
**答** 十数人いる。

**問** 近隣自治体の状況は。  
**答** 岡山市、備前市、美作市、美咲町で導入している。

**問** 精神障害者保健福祉手帳1級所持者を加えるということだが、近隣自治体はどうか。  
**答** 近隣自治体の状況を見ても、精神障害者保健福祉手帳については、1級所持者である。また、精神通院の受給

者証を持っていることを併せて要件にして自治体もある。

**赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について**

**問** 出産育児一時金が48万8000円だが、必要であると認めるときは、3万円を上限として加算するところ。場合によっては、50万円に至らない人も出てくるということか。  
**答** 産科医療補償制度を利用した人には1万2000円追加するので50万円。利用しなかった人は48万8000円になる。

**問** 産科医療補償制度は、一般的に皆が使っている制度なのか。  
**答** 一般的には利用する人が多いと思う。



## 6月議会のお知らせ

- 6月2日(金) 議案上程
- 6月9日(金) 一般質問
- 6月12日(月) 一般質問
- 6月13日(火) 一般質問
- 6月19日(月) 質疑・委員会付託
- 6月21日(水) 産業建設常任委員会
- 6月22日(木) 総務常任委員会
- 6月23日(金) 厚生文教常任委員会
- 6月27日(火) 予算常任委員会
- 6月30日(金) 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)

※この日程は予定です。日程は、5月26日開催の議会運営委員会で決定します。

厚生文教常任委員会 視察研修

厚生文教常任委員会は、1月31日に広島県三次市、2月1日に広島県府中市へ視察を行った。

小中一貫教育の取り組みについて

- ・広島県三次市
- ・広島県府中市

- ①小中一貫教育をはじめめるに至った経緯。
- ②小中一貫校という形態を選択した理由。
- ③地元からの意見。調整していく上で困難だった点は。
- ④必要経費（イニシャルコスト、ランニングコスト）は。また、従前と比較して増えたのか減ったのか。
- ⑤現在感じている良い点、悪い点は。計画段階での想定とのギャップはあるか。などの項目について説明を受けた。

三次市では平成23年度より小中一貫教育を導入し、地域に合った形態で12中学校区で実施している。

府中市では平成20年に全国に先駆けて全市で小中一貫教育を導入し、中学校区の立地環境を生かした3形態で取り組んでいる。

子育て施策について

- ・広島県府中市

- ①ネウボラ（※）を始めるに至った経緯。
  - ②事業を進めていくにあたって苦労した点。
  - ③現在感じている良い点、悪い点は。計画段階での想定とのギャップはあるか。などの項目について説明を受けた。
- 府中市では、令和3年7月に府中版ネウボラ子育てステーション

「ちゅちゅ」をオープンさせ、妊娠から子育てまで様々な相談にワンストップで対応できる施設を整備している。



広島県府中市



広島県三次市

※ネウボラとは、妊娠期から就学前にかけての子ども家族を対象とする支援制度で、フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味する。

ようこそ赤磐市へ



令和5年2月8日に、茨城県小美玉市議会文教福祉常任委員会が「部活動「地域移行」の課題について」の調査のため視察に訪れました。



令和5年1月25日に、福島県相馬市議会の議会運営委員会の皆様「赤磐市議会大規模災害対応マニュアル」の調査のため視察に訪れました。

一般質問



# 市の考えを問う

15人の議員が登壇し市の考えをたどしました。  
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
安藤 利博 13ページ	・歴史遺産の整備・活用について	大森 進次 16ページ	・アフターコロナにおける地域コミュニティの支援は ・身近な移動手段である自転車環境整備を ・地域商社のその後の活動は
永徳 省二 13ページ	・学校給食無償化について ・高い水道料金について ・県立高校誘致について ・市内への警察署誘致について	下山 哲司 ※本人の意向により記載なし	・周匝駐在所について ・コロナ対策について ・赤磐市総合計画について
松田 勲 14ページ	・空き家・空き地対策について ・少子化対策と子育て支援について	治徳 義明 17ページ	・空き家対策について ・带状疱疹予防ワクチンの助成制度の導入について ・ホテル誘致について ・物価高騰対策について ・精神障害者医療費の負担軽減について
金谷 文則 14ページ	・市政の進め方について	大口 浩志 17ページ	・今後の赤磐市政について ・市民の移動手段について ・通学支援について ・鳥獣害対策について ・相続時の義務化について
牛尾 直人 15ページ	・市内の防犯 ・子育てするなら ・新拠点を中心とした新たな町づくりについて ・農業の現在	鼻岡 美保 18ページ	・子どもの医療費無料 ・軽貨物宅配業者への燃油補助 ・コンパクトシティ
福木 京子 15ページ	・小中学校の給食費の無料継続を ・山陽地域の中心部のその後の動きはどうか ・市政の声を聞く行政にすべきではないか	原田 素代 18ページ	・既存不適格と立証できない ・ごみの最終処分場の新たな見直し案について
佐藤 武 16ページ	・新拠点整備のための立地的成果計画について ・桜が丘運動場について ・特別支援教育の専門家派遣について	佐々木 雄司 19ページ	・市政10年について
		佐藤 武文 19ページ	・社会福祉協議会で支払われた処遇改善手当の分配は違法性も無く正当であったのか ・これからの赤磐市の米作りはどうあるべきか ・地区・地域の大切な伝統や文化は継承されているのか ・最近の児童生徒は体力測定の結果が良くないのではないか。

表紙の一言

赤磐市立軽部小学校は令和4年度に創立150周年を迎えました。令和5年1月31日に創立150周年記念式典が行われ、児童や地域住民の約150人が参加しお祝いしました。写真は3年生から6年生が楽器マーチングで「校歌」やBUMP OF CHICKENの「天体観測」を演奏しています。

3月定例会のあらまし

委員会のついで

いっぽん質問

その他協議会等



安藤利博議員

### 備前国分寺跡周辺の歴史公園として整備を

#### 備前国分寺跡の整備

**問** 国指定史跡とは、有形文化財でいえば国宝に相当する貴重な歴史遺産、国の宝である。進入道路、駐車場も整備されていない。トイレもない。備中国分寺跡と比較して雲泥の差がある。

**答** 備前国分寺跡の保存整備、活用状況をどう考えるか。

**問** 両宮山古墳の墳丘裾保存整備工事終了後に僧房などの整備に取りかかる。

**答** 備中国分寺跡と比較し遅れているとは考えていない。

#### 両宮山古墳の整備

**問** 両宮山古墳は県下3番目の大きさ、二重周濠を持ち、内濠には



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

今も水をたたえる貴重な古墳。埋め立てられた後円部の内濠の復元予定、外濠を示す方策はないか。墳丘頂上までの道を整備しないか。

**答** 大部分が民有地、史跡地外になっており、公有化計画を固めた上で、専門家の意見を聴取し検討する。

#### 山陽郷土資料館

**問** 小中学生の訪問学習実績は。職員を正職員にはできないか。

**答** 市内5校、市外1校の小学生約390人が郷土の歴史を学ぶ授業を行っている。

学芸員の正規化は人事体制の全体的な検討の下に考えたい。

#### 歴史公園の整備

**問** この一帯を歴史公



備前国分寺跡と両宮山古墳

園として整備し、資料館も併設すれば郷土愛醸成、観光客誘致、移住者呼び込む吸引力となる。整備し地域の宝にしないか。

**答** 赤磐市の史跡について知ってもらう活動が重要。多くの人が訪れるよう保存整備や活用事業を推進する。



永徳省二議員

### 学校給食無償化を継続しないのか

**問** 備前市や吉備中央町はできて、なぜ赤磐市はできないのか。

**答** 子育てを支援する立場から見ると有効だが財源が必要。なぜ赤磐市ではできないのか

についてはコメントを控える。

**問** 国からの臨時交付金が今後なかったら、継続しないと断言するのか。

**答** 国からの財源充当のほか、税収増の取り組みを推進することが併せて重要。見込みが立つのであれば、先立ってやるということも視野には入れる。

**問** 赤磐市の水道料金は高いとの市民の声がたくさん寄せられている。隣接自治体との水

道料金の比較は。

**答** 料金が低い順に、赤磐市3734円、美咲町3630円、備前市2772円、和気町2612円、岡山市2563円。

**問** 水道料金を下げる可能性および施策は。

**答** 料金収入は重要な財源。赤磐市上下水道審議会でさまざまな審議を行う必要がある。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

**問** 市内中学卒業生の近隣高校への進学者数は。

**答** 瀬戸高38名、和気閑谷高38名、瀬戸南高36名、岡山城東高27名、岡山白陵高0名、学区外5%枠12名。

**問** 要望書は、県知事や県の教育長に提出したのか。

**答** 出していない。対面で伝えている。

**問** 中四国地方、関西地方で200以上の市があるが、唯一、市内に県立高校のない赤磐市としてどうするのか。

**答** 近隣の高校への進学実績を上げることが一番重要。岡山市内等へ進学する場合の5%枠廃止を要望し続ける。

**問** 県立高校誘致について

**答** 市内中学卒業生の近隣高校への進学者数は。

**問** 市内中学卒業生の近隣高校への進学者数は。

**答** 瀬戸高38名、和気閑谷高38名、瀬戸南高36名、岡山城東高27名、岡山白陵高0名、学区外5%枠12名。



瀬戸南高校



松田 勲議員

### 空き家・空き地対策に 環境美化条例の見直し



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 空き家・空き地の問題は、全国的にも深刻な状況である。特に団地や住宅街では、庭の草や木々などによる近隣住民からの苦情や要望を直接受けている町内会・区長会は、対応にとっても苦慮していると聞いている。

**答** 環境美化条例の見直しについては、管理不全状態の空き地に対する指導権限を規定する。美しいまちづくりをさらに推進していくことを目的に、効果的な空き地対策を進めるための条例改正に向け、現在パブリックコメントを行っている。令和5年7月1日施行に向け、現在準備を進めている。

道路に枝や草が大幅にはみ出ている場合は、道路管理者で対応が必要と判断すれば対応をしていく。まずは、市に相談をしていただきたい。

### 高校生世帯へ市独自の 支援をすべきでは

**問** 燃料費高騰や物価高騰が続く中で、子育て世代の所得もなかなか上がらない状況であり、家計も深刻で厳しさを増している。特に教育費等の比重が最も高い高校生や大学生を抱えている家庭への影響は大きい。

**答** 市独自の児童手当等の支援を早急に取り組むべきではないか。高校生への通学費補助の要件緩和や広域

路線バス赤磐・和気線の運賃引き下げなど、通学に係る経済的負担の軽減に取り組んでいる。子育てするならば赤磐市と胸を張ってPRできるよう、子育て支援策の推進に取り組んでいく。高校、大学というのは家計を大幅に圧迫することはよくわかる。何が一番的確か、何ができるか、英知を結集して考えていく。



市の子育て支援関連パンフレット

重要な施策は、議会や市民に分かりやすい説明と、納得して協力してもらえ工夫がいるのでは



金谷文則議員

### 市政の進め方について



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 立地適正化計画や農業支援センター事業や山陽団地の若者定住促進事業等で、唐突に事業計画が知らされるようなことがある。執行部の中では十分話をしており、分かってもらっていると思っている部分があると思うが、議員や市民に対しては、分かりにくかったり伝わっていないか。

**答** 立地適正化計画の進め方というと、道の駅を計画する中で、赤磐市に不足している物や欲しい物などについて、もっと市民や議員

に意見を聞き入れたら良いとの意見も多い。例えば、ホテルなどの宿泊施設やスポーツ施設を併設してはどうかなど。また、道の駅をやるにも多額のお金がかかる。後出しじゃんけんにならないよう、どれくらい予算を使っていききたいか等、考えを伺いたい。

**答** また、山陽団地の若者定住事業は、2回目の事業者募集にも応募が無いのは、見通しが甘かったのではないかと、市政の推進には、

え、今後は説明の機会をしっかりと設け、丁寧で分かりやすく、納得頂けるよう進める。他の地域の道の駅の事例では、20億円程度と聞いている。市の身の丈に応じた事業費にしたい。立地適正化計画の中では、宿泊施設は市に不足の都市機能と整理している。サッカー場などのスポーツ施設も有用と考えている。若者定住促進住宅は厳しさを痛感している。少し時間をかけて検討したい。

議会や地域の意見も丁寧に聞くことが重要と認識している。指摘を踏ま



「都市機能の集積による新たな拠点形成」イメージ図



牛尾直人議員

### 新拠点を中心とした 新たなまちづくりは



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 市内防犯カメラ設置状況は。

**答** 通学路を中心に市内34か所設置している。

**問** 児童公園が少ないのでは。

**答** 必要な児童公園は確保できている。

**問** 新拠点赤磐市が独自でやるのはどこか。

**答** 公共ゾーンを中心に新事業として行う。

**問** その他のゾーンは民間で開発をするのか。

**答** 指摘の通り。

**問** 公共ゾーンに何ができるのか。

**答** 交通子育て文化防災をテーマで実施する。

**問** 市内各所との交通の拠点ということか。

**答** 交通のハブ機能にしたい。

**問** 通勤、通学は。送迎など実現できるようにしたい。

**問** 子育ての悩み相談や予防接種、一時預かりなど、遊具のある公園があり、子育ての拠点にもなるのか。

**答** 子育てをする施設は欠かせない。そのようないメージである。

**問** 公共ゾーンを中心に今足りないものができてくるのか。

**答** 市民の代表の方と協議をしていきたい。

**問** 斗有のほ場整備は。5名の就農者が決まっている。

**問** 新規就農者の住まいは。

**答** 支援が必要である。

**問** 高齢者が多く農業、草刈りなど今後どうしていくのか。

**答** 就農支援センターを法人組織として立ち上げ、高齢化、担い手不足に対応していく。

**問** 具体的には。

**答** 農業機械バンク、農作業の委託、繁忙期における労働力の確保、次世代先進農業の実証など進めて行く。

**問** 新規就農者、高齢の農家の方などに農機具を貸し出しするのか。

**答** 整備していきたい。またやむなく離農される方の農機具などを活用できる場にもしていきたい。



道の駅パレットピアおおの (岐阜県)



福木京子議員

### 小中学校の給食費の 無料継続を



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 昨年の2学期と3学期に給食費無料に踏み切られたが、この4月から元の有料に戻る

とのこと。それに対し「赤磐市学校給食を良くする会」が結成され

請願や無料の継続を求める署名が開始されている。市PTA連合会

にも要請され、署名は短期間で多数集まってきた

ている。物価高騰の

おり、市民の生活を守るのが行政の役割。将来を担う子どもたちの

ために財政の1%を給食費に使ってと要望されている。義務教育は無償であり、給食費無料の継続をすべきである。

**答** 無料化をやらな

いとは言っていない。赤磐市において税収を増やす、あるいは国に助

成を求め、こういったことを先にやるべきだと言っている。

**山陽地域の中心部のその後の動きは**

**問** 山陽地域の中心部にお店と福祉施設等での相談窓口を提案する。和気町の佐伯地区でコンビニがまちの支援で営業されている。本気で研究すべきだ。

**答** 現在、所有者が有効活用に向けた事業者等の募集を積極的に

行っている。市は住民のニーズ、あるいは活性化への期待の声を随時伝えている。相談窓口は、市の

地域包括支援センターで対応している。佐伯の出店補助金の件は研究していく。

**市民の声を聞く行政にすべき**

**問** 立地適正化計画策定協議会は、専門家ばかりで市民が3人だけだ。議員にも市民にもまちづくりについてしっかりと説明すべきだ。

**答** 立地適正化計画は、総合計画がベースになっている。市民にしっかりと説明し対話していく。



山陽2丁目から見た山陽中心部



佐藤 武議員

### にぎわいと魅力ある赤磐市になれるのか



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

**問** 新拠点（岩田・河本地区）整備事業が赤磐市発展のラストチャンスと考えるが、市としての考え方は。

**答** 今後、人口減少・高齢化が進展することは間違いなく、現状維持も厳しいと言わざるを得ない。新たなまちづくりのタイミングとしては先送りできない。時間がかかっているが、ようやく道筋が見えてきたと感じており、市民の声を聞き、準備を整えていきたい。

広域的な商圏を持つ商業施設や住環境に配慮した企業の誘致が赤磐市の課題を解決する

一助になる。企業からの問い合わせも複数あるが、新拠点整備の実現性とスケジュールが最大の関心事であり、これらに明確に伝えるためにも着実かつ早急に取り組んでいきたい。

**問** 桜が丘運動場を、サッカーや陸上競技の公式試合等が可能な施設として本格的に整備を進める考えはないか。

**答** 現在、全日本少年サッカー東部予選や県シニアリーグなど多くの利用があり、今後も施設充実や利用促進に取り組んでいく。

**問** 教育的特別支援が必要な子供たちの早期把握と、小学校へのスムーズな就学の取り組みの現状と課題は。

**答** 就学支援事業では幼稚園や保育園など21



桜が丘運動場

園を特別支援教育の専門家と訪問して、障害の可能性等を的確に把握し、地域の保健・医療等と連携しながら、就学後の学校において落ち着いた環境を実現するための取り組みを行っている。今後は、障害を特別と捉えるのではなく、子供たちの個別に合った支援が必要と考えている。



大森進次議員

### アフターコロナの地域コミュニティの支援は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

**問** コロナによる活動制限で地域コミュニティが変化している赤磐市の現状と今後の活動に向けて支援をどのように展開するのか。

**答** コミュニティ活動が制限され、人とのつながりが薄くなったことが問題と感じている。対応策として、令和3年3月に自治会活動再開応援補助金、令和4年8月にWi-Fi環境の整備などの策を講じた。今後の展開は、住民主体の活力に満ちた地域の形成を図る必要があり、情報の共有化、気軽に参画できる機会の提供など、市民協働の推進に向け環境整備を目指していく。

**問** 答弁にあつた策だけではなかなか元には戻らない。もう一押し

支援が必要と考えるが。

**問** 自転車環境の整備で道路、駐輪場などのハード面、購入補助、安全啓発などのソフト面の環境整備をどう考えるか。

**答** ハード面は、舗装の整備を地域の要望により計画的に実施していく。駐輪場は、利用しやすい環境整備に努めていく。購入補助金は、ヘルメットの着用が努力義務となり、購入補助金も含め着用の推進策を検討していく。安全啓発活動は、赤磐市民全年齢を対象に行っていく。



令和5年さくら祭り

**問** 平成28年度スタートした地域商社の現状と、今後の方向性は。

**答** 平成30年度で市の財政支援は終了した。その後コロナの影響で令和3年度から英国庭園の事業は休止した。現在も赤磐産米、コーヒーなど販売を継続している、市と情報共有し多方面から地域振興に寄与いただきたい。





治徳義明議員

### 宿泊施設誘致は市の活性化には必要である



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

**問** まちづくりや市民の利便性向上の観点。

また、企業誘致や観光振興など赤磐市の活性化のためにも宿泊施設（ホテル）の誘致は必要不可欠である。新拠点開発の中で最重要課題として整備する必要があると考えるが。

**答** 宿泊施設の誘致は赤磐市民の悲願であり、速やかに都市計画の変更を進めることが重要である。

### 空き家対策

**問** 市独自の空き家条例制定から約5年。課題解決のために、新たな施策の取り組みが必要な時期である。相続した空き家を更地にすることで税負担が増えることが空き家除去の進まない原因のひとつ

である。固定資産税の減免など流通促進の取り組みを行うべきでは。

**答** これから検討する。

### 精神障害者支援

**問** 精神障害者の方は経済的負担が大きくなっている。特に、医療費負担は深刻である。昨年の9月議会の私の指摘に対して、市独自の助成制度を前向きに検討する」との答弁だったが、状況は。

**答** 心身障害者医療費給付制度における対象を精神障害者保健福祉手帳1級所持者に拡充する条例改正を行う。医療費は原則1割負担になる。

### 施設園芸農業支援

**問** 農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、



施設園芸

農業は成長産業になると確信する。その核になるのが施設園芸農業と考える。物価高騰対策として事業規模による支援等検討すべきでは。

**答** 施設園芸農業は重要である。有効なものを探索する。



大口浩志議員

### 今後の赤磐市政について



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

**問** 今後どのような考えで進めていくのか。

**答** 美作岡山道路のインターチェンジを活用した企業誘致に、注力していく。

**問** 市民に誤解を与えないよう、丁寧な意見交換を重ねてほしいが。

**答** 双方向で意見交換しながら、丁寧に進めていく。

### 市民の移動手段について

**問** 使い勝手の改善は。引き続き利便性、使い勝手の向上に努める。

### 通学支援について

**問** 宇野バス限定ではないので、定期代の補助はできないか。

**答** 高校生の通学支援の施策は始まって数年

の事業である。いろいろな問題を抱えているのは認識している。課題解決に向けて、研究を重ねる。

### 鳥獣害対策について

**問** 補助金の使い勝手の向上策はどの様に。

**答** 地域の要望・意見を聞きながら改正を重ねている。今後必要部分は見直しを行う。

**問** 今後の捕獲の担手の確保策としても、また、コロナ経済対策・各種物価の値上がり対策の一つとして捕獲補



美作岡山道路佐伯インターチェンジ

助金の増額は検討できないか。

### 相続登記の義務化について

**問** 市民生活への影響は、お知らせの在り方は。

**答** 正当な理由なしに申請しない場合は、過料の可能性もある。義務化は令和6年4月から始まる。令和5年度一年をかけて周知していく。



鼻岡美保議員

### がんばろう赤警エネルギー価格 高騰対策事業者支援補助金



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

#### 燃油の高騰対策を

**問** 燃油の高騰が宅配業者の経営を圧迫している。燃油補助を再度問う。生活に密着した存在だが、零細な事業だ。簡素な手続による補助金実施の考えは。

**答** 原油高、物価高の影響を受けている軽貨物自動車運送事業者をはじめ中小企業、個人事業主などへの支援策として、「がんばろう赤警エネルギー価格高騰対策事業者支援補助金」の補正予算を計上した。また申請は、できるだけ簡素な手続で済むように考えている。

#### 子どもの医療費無料

**問** 岡山市の子どもの医療費施策への市の認識を問う。高校生まで無

料、市長の決断を。「入院にコンビニ受診はない。入院は無料」の審議会の報告で、岡山市は高校生まで入院は無料だが赤警市は。

**答** 岡山市は入院は無料、通院は中学生・高校生に1割の負担だ。岡山市のあり方は参考になるので、引き続き検討する。執行部などの意見も聞き最終的に総合的に判断をする。当面、財源確保のための施策推進を目指す。

#### コンパクトシティ

**問** 立地適正化計画はどのくらいの事業規模となるか。市民への十分な説明を。「コンパクトシティ」は、国の構想どおりに実現させるのか。

**答** 持続可能な都市運



軽貨物運送業者

営が可能なまちをつくる。議会や市民に情報提供や意見交換もしながら、守りの都市計画から、利便性・生産性を向上させる攻めの都市政策を進める。事業費は他地域では約20億円だったと聞く。国の方針には賛同していない。



原田素代議員

### 公道上の構築物は、私的な事案ではない



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 12月議会で市長は公道上の構築物について、「既存不適格」だと答弁している。しかしその後市民から調査の結果「設置の申請があれば良いが、申請されていないことが判明」市長が説明した「既存不適格」ではなかったが、説明を求めると

**答** 私的な事案につき答弁を控える。

**問** これを私的なことと矮小化したら、市のコンプライアンスが崩れてしまうが、きちんと答弁を求めると

**答** 私的な部分のため答弁を控える。

**問** 12月議会であれば胸を張って「既存不適格だ」と答弁していたのに、あまりにも対応が子供じみていないか。市長は「道路占用

料金」を払っていると聞くが、「違法建築物」の占用料を払うのは、「違法だけのお金で解決」ですか。

**答** 確認が取れていない。

**問** ゴミの最終処分計画は市民にとって最適な選択を議会と執行部の両輪で議論し、市民に説明すること

**答** 確認が取れていない。

**問** ゴミの最終処分場の計画は、2011年の基本構想によって進める予定が、10年間事業が頓挫した。

**答** 地元合意が最優先。クローズド型に変更を検討。住民への説明に努める。

**問** 今回の提案は10年前と比較はできない。新たなプランでは施工性、管理性、安全性、

将来性、跡地利用など提案されていない。災害ゴミの処理計画では1万9475トンの処理や、広域的相互協力もつたわれている。小規模施設を検討する時代ではないと思うが。

**答** 処分先を複数チャネル化して、分別徹底、リサイクルの推進などで、コンパクト化が可能である。



エコプラザあかいわの建屋

行政改革について



佐々木雄司議員

行革で得た財源は  
住民サービスに使用してほしい



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

行革方針はどう考えているのか。

いがどうか。

答 市民福祉の向上はもちろん、行革大綱に掲げる行革により捻出した財源でまちづくりを進め、そのまちづくりで得られた財源でさらなるまちづくりをと

問 社会福祉協議会で支払われた処遇改善手当は、違法性も無く適正であったのか。

見ぬふりをしていてもいいものなのか。

児童生徒の体力は問題ないのか

答 厳しい財政状況を改善し、簡素で効率的な行政運営を実現するために、これまで第4次にわたる行革に取り組んできた。令和5年度当初予算の編成においても依然として一般財源の不足を補うために財政調整基金からの繰り入れを余儀なくされており、厳しい財政運営が続いているという認識を持っている。まちの創生を支える足腰の強い財政基盤を築くためにも、引き続き不断の行財政改革に取り組んでいく。

答 社会福祉協議会において、第三者委員会を立ち上げ調査を進めているので、動向を注視したい。

答 就農等支援センター事業を活用し、民間事業者の技術を次世代農業へ役立てたい。

答 幼少期にしっかりと体力を身につけることも重要で、遊びから、運動から学ぶことがたくさんあるのでは。

問 平成25年3月に行われた市議会議員選挙で初議席を預かった。当時の事として予算の使用方法に問題を感じた。また市債発行額も390億円近くあり、予算の在り方を変えないと400億円を超えていくのではないかと危機感を覚えた。そのようなことから行革の声を上げた訳だが、市長も同様に問題を感じたようでは本格的な行革に着手してくれた。その結果、この6年で332億円にまで市債を減らす事ができ、6年間で41億円も借金を減らしている。これは市長をトップとして職員が一丸となった成果だと感じている。今後の

問 市長が説明できないのであれば、外部監査を導入し、調査すべきではないか。

問 賑やかに行われていた地区の伝統文化が、少子高齢化・コロナ禍の影響により消え去ろうとしているのでは。

答 体力向上の意識が欠けているのは事実である。子供が主体的に判断する力、忍耐力は学力とも相関している。未来に向けて育っていく子どもたちを見守りながら学校教育を充実していく。

問 幼少期にしっかりと体力を身につけることも重要で、遊びから、運動から学ぶことがたくさんあるのでは。

問 理事会でさかのぼっての承認は社会通念上認められるのか。

答 地域における伝統文化の継承、担い手を確保していくのは大変難しいが、市民への啓発、郷土愛の醸成に努めたい。

答 大切な伝統文化は継承されているのか

答 地域における伝統文化の継承、担い手を確保していくのは大変難しいが、市民への啓発、郷土愛の醸成に努めたい。

問 いわゆる行政改革、歳出改革によって得られた財源は住民生活やまちづくりに資する方法で活用してほしい。

答 市民福祉の向上はもちろん、行革大綱に掲げる行革により捻出した財源でまちづくりを進め、そのまちづくりで得られた財源でさらなるまちづくりをとらなるまちづくりをとという基本理念にのっとり、雇用の拡大やにぎわいの創出、そういったものにも施策に力を注いでいきたい。



赤磐市役所本庁舎

問 米作りが年々厳しい状況にある中、見て

問 米作りが年々厳しい状況にある中、見て



農耕作業風景

# 議会全員協議会

主な協議・報告事項

2月14日

- ・令和5年3月第1回赤磐市議会定例会について

- ・産業建設常任委員会の報告

- ・赤磐市のまちづくりについて

- ・平成30年度赤磐市一般会計歳入歳出決算不認定を踏まえた措置の報告について

- ・赤磐市議会の個人情報保護に関する

る条例（案）について

2月22日

- ・赤磐市のまちづくりについて

3月14日

- ・特別委員会の設置について

3月22日

- ・柵原・吉井・英田火葬場施設組合議会議員の補欠選挙について

## まちづくり調査 特別委員会を設置

令和5年3月議会定例会において、まちづくり調査特別委員会の設置を可決した。

同日に委員会を開き、委員長に金谷文則議員、副委員長に光成良充議員を選出した。

今後は、新拠点地域における公共施設ゾーン整備、旧4町のまちづくり及び振興計画について調査、協議を行っていく。

※特別委員会設置の目的については、3ページの「発議第2号 特別委員会の設置についての要旨」をご覧ください。

役職名	委員氏名
委員長	金谷 文則
副委員長	光成 良充
委員	全 議 員

## 編集後記

「活力ある、住みよい、住みたい」まち赤磐を目指して、赤磐の未来を決める新しいまちづくりが、本格的に始まろうとしています。

市議会におきましても、3月議会で「まちづくり調査特別委員会」が設置をされました。

新拠点地域における公共施設ゾーンの整備、旧4町のまちづくり及び振興計画等について調査、協議を行ってまいります。

さらに、物価高騰対策、アフターコロナの取り組み、子育て支援など喫緊の課題が山積してはいますが、本議会、委員会などを通じて、しっかりと議論をしてまいります。

本年は、うさぎ年、うさぎのように耳を長くして、議員一人一人が市民の皆様のお声をしっかりお聞きしながら、真剣に取り組んでまいります。

### 広報広聴委員(広報部会)

- 部長 光成 良充
- 副部長 鼻岡 美保
- 委員 治徳 義明
- 委員 大口 浩志
- 委員 永徳 省一
- 委員 安藤 利博